

生活を支える地区社協を目指します

明けましておめでとうございます。昨年に引き続き、本年もよろしくお願いいたします。平成25年3月に発足した岡田小地区社協は早いもので、今年で6年目を迎えます。子育て支援のデータベースは出来上がり、見守り方法についても定着しつつあります。岡田小のもち米づくり支援は、田植えから餅つきまでを子ども達に体験させる事ができました。



新たに、交通移動支援、日常生活支援の活動がスタートしました。システムづくりはこれからですが、今年中に基本設計を取りまとめ、具体的な活動に入る計画です。この二つの支援活動には、地域の皆さまの強力なご支援とご協力が欠かせません。宜しくお願いいたします。

見守り支援協力者向け勉強会に86名参加

岡田小地区社協は、見守り支援協力者向けに、10月13日中央生涯学習センターで、見守り勉強会を開催し、86名が参加しました。

勉強会では、支援協力者に岡田小地区の見守りの現状を報告するとともに、見守りの現状・困っている問題点・うまくいった事例等を6グループに分かれて活発に議論していただきました。



参加者からは、他地区の見守り状況等意見交換ができて、今後の見守りの参考になったとの感想が多く、初めてにしてはまずまずの結果となりました。



上尾市から40名の見守り研修団が来訪

10月6日上尾市社協大石支部40名の皆さんが当地区社協の見守り実施状況の視察に来られました。

先ず牛久市の担当課から市の見守り台帳登録制度の説明を受けた後、当地区社協の見守りの現状と課題を井寺委員長が説明しました。終了後、見守り支援協力者について質問が集中し、何故無償で支援してくれるのか不思議に感じた方が多かったようです。上尾市は、当地区社協の見守りの仕組みの現状を参考に活動を進めたいとの事でした。



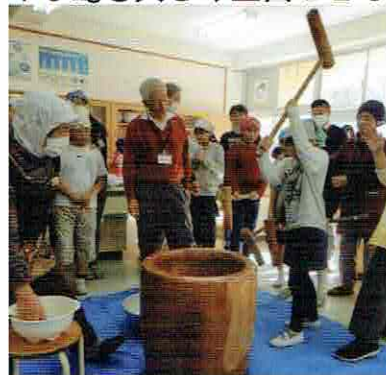
岡田小児童による初めての田植え体験 第2報

もち米 収穫出来ました

2月2日の田起こしから始まり、元肥を撒き、5月17日の田植え、4年生の児童3クラス92名が1クラスずつ交代で約30名が2組に分かれて15～16名が1列に並んで、14～15束ずつ植えました。

毎日の水管理が欠かせませんが、水を止め土をひび割れ状態にすることによって田の土に酸素を入れ、土を固くして根が広がり易くする為の中干しを数回行いました。また、除草剤を1度撒いて雑草の防止も行いました。

8月10日稲を消毒、稲は順調に生育、10月3日に4年生の児童全員で稲刈りを行い、オダ掛けをしました。残りの稲はご指導くださった下柏田行政区の前区長寺田さんがコンバインで脱穀してくださいました。11月16日、4年生全員で、オダ掛けした全ての稲を校庭で足踏み脱穀機と唐箕(とうみ)を使って、脱穀を行いました。児童にとって貴重な体験でした。当初の予想140kgを大きく上回る200kgの玄米を収穫する事が出来、大成功でした。



そして最後に餅つき、12月12日に1クラス2日ずつ交代でつきました。しかし、残念ながら「O157」の心配があるということで、児童たちはおもちを食べる事はできませんでしたが、ならせ餅(紅白の団子を作り、木の枝に刺して飾る)にし、飾りました。

お餅は駄目でしたが、給食でもち米の入った「サムゲタン」を作って、全児童にふるまいました。このご馳走、我々もち米作りメンバーもご馳走になりました。美味しかったですよ。

寺田さんには、田起こしから苗づくり、田植えの指導、水管理、病害虫対策、稲刈りの指導、脱穀、もみすり、餅つきと多岐に渡り、ご協力・ご指導頂き本当に有難うございました。そして、30名の協力者の皆さん色々ご協力頂き、有難うございました。

岡田小学校歌声集会、すまいるサポーターも参加しました

11月11日、岡田小学校の歌声集会在体育館で行われました。今年で4回目を迎えた歌声、岡田小地区社協からは昨年に引き続き今年もすまいるサポーターの皆さんはじめとして50名余の方々に参加、児童たちの歌声を楽しみました。

1年生から6年生までが学年ごとに歌声を披露しました。低学年生は元気よく、高学年生は美しく、この日のために練習してきた成果を思う存分発揮し、沢山の参加者を魅了しました。



特に、6年生にとっては最後の歌声集会、その思いを込め見事なハーモニーを聴かせてくれました。

6年生の皆さん、ありがとう!



行政区の活動報告

・・・栄町行政区《第10回ふれあい祭り》開催・・・

去る11月5日（日）栄町第1児童公園で「栄町行政区ふれあい祭り」が開催されました。この「ふれあい祭り」も回を重ね本年は第10回の記念すべき祭典となりました。

前夜からの雨で心配されましたが、当日は快晴の温暖微風で最高の条件下で、多くの来賓の皆様にも見守って頂き盛大に開催することが出来ました。

今年も牛久一中の化学部の生徒さん約20名が参加して祭典を盛り上げてくれました。また第10回開催を記念して牛久かっぱ太鼓チームにも参加して頂き、勇壮な和太鼓の披露に拍手喝采で大好評でした。

お父さん、お母さんと一緒に多くの子供さん達も参加されました。いろいろな模擬店、昔の遊び等、どこのお店も満員でした。



毎回恒例の市長による餅つきには、見物する人、写真を撮る人等々で人垣の輪が大きく広がりました。

また、栄町元気農園の皆さまが販売した各種野菜は、そのフレッシュさと破格の安さが人気の的で長蛇の列が出来ていました。

最後の大抽選会は、豪華景品に大いに盛り上がり、祭りのクライマックスを迎えました。楽しく有意義な「ふれあい祭り」、成功裏に開催する事が出来ました。全ての役員・関係者の皆様方有難うございました。



・・・中柏田行政区「秋のバスツアー開催」・・・

11月23日（勤労感謝の日）当行政区では日帰りバスツアーを実施しました。

行先は、今は歴史的な文化遺産となっており、かつて常磐線でも走っていたSLが栃木県の真岡鉄道に動態保存されているので、この乗車体験を今年の研修会テーマとしました。

蒸気機関車が汽笛を鳴らし煙を出して発車する時、子供の頃の思い出が甦りました。初体験の子供達は石炭で動く蒸気機関車に驚きと、一つの良い思い出が出来た事と思います。

昼食は益子に予約をしていたので、全員一緒に食事をしました。食後、まず人間国宝板谷波山の陶器を鑑賞し、その素晴らしい作品の数々に感銘を受けた後、一路那珂湊漁港へ、一人ひとり楽しみながら散策し、買い物をしてこの日の旅を終わり帰路につきました。

参加者の皆さんは、親しく交流出来て良い思い出作りの一日旅になった事でしょう。参加された皆さんはもとより、企画に携わった役員さん、お疲れ様でした。



・・・下根ヶ丘行政区「みんなのビレンナーレ展」・・・



地域の活性化と交流の輪を広めようと、11月20日(月)から一週間、下根ヶ丘会館において文化祭「みんなのビレンナーレ展」を住民一丸となって開催しました。

一昨年に次いで開催、早くから協力を呼びかけ、小学生からシニアまで、多岐多様な作品の協力がありました。鑑賞された皆さんは作品のすばらしさと趣味の多彩さに感銘をうけたようです。

この団地が誕生して、あと数年で50年を迎えます。「昔の下根ヶ丘展」も企画、当時の様子を伝える「お話し」と「古い写真」に、懐かしい昔をしのび大好評でした。



フリーマーケットは家族連れなどで大変賑いました。また、最近の世界的な盆栽ブームもあって、さつき愛好会会長による教室は初心者や女性も多く参加、盆栽に興味を持ったようです。

なお期間中は牛久市長、近隣区長、地区社協関係者をはじめ他地区からも多くの方が来場され、楽しく元気の出るイベントとなりました。



・・・上池台行政区「カフェかみいけ」オープンしました・・・

本年度より、牛久市の「地域コミュニティー活性化補助金」を受け、当(上池台)区民会館にて、気軽に足湯感覚で立ち寄れる地域のつながりの輪たまり場喫茶「カフェかみいけ」を月の第一、第三日曜日の二回開催することになりました。

初回は、11月19日午後0時から午後4時30分の間、関係者の皆様の協力を頂き、晴天にも恵まれ無事開催できました。



当日は、慣れないコーヒー等の入れ方操作により、ハプニングもありましたが、賛同者様からのパンケーキの差し入れもあり、地域の皆様、更には子供会の皆さん約70名の方々に集まって頂き、無事終了することが出来ました。



今後は、12月には区と子供会と共にクリスマス会を開催したり、以後月一度のイベントを考え、地域一体のたまり場となるよう試行錯誤しながら開催していきたいと思ひます。

